

食育・地産地消ふくおか県民会議 設立趣意書

本県では、恵まれた自然条件のもとで、多種多様な農業が営まれています。そして、米の「元気つくし」や「夢つくし」をはじめ、いちごの「あまおう」、「博多なす」、「八女茶」、「福岡のり」など全国に誇れる農林水産物が数多くあり、県ではこれらブランド農林水産物を中心に農林水産業の振興を図っているところです。

一方、本県は全国9位の500万の人口を有する大消費地です。これらの豊かな県産の食材を県民の皆さんにたくさん食べていただく、いわゆる「地産地消」を進めることは、本県農林水産業振興の観点から特に重要だと考えています。

このため県では、平成23年9月に「ふくおかの農業応援団」を創設しました。これは、本県農業の大切さへの理解を深め、家庭で県産農林水産物を積極的に購入する「応援ファミリー」と、飲食店、菓子店等で県産農林水産物を積極的に利用する「応援の店」からなり、現在、「応援ファミリー」の登録数は1万世帯を突破、「応援の店」も350店を超えています。

さらに平成25年度からは、「応援団体」を設置し、枠組みを企業や団体に広げることとしました。これは県内の企業や団体に「応援団体」として登録いただき、県産農林水産物の消費拡大や農山漁村の活性化につながる取組を実施していただくものです。

このように、県では、食の重要性と農林水産業及び農山漁村の果たす役割と意義について理解していただく「食育」と併せて、「地産地消」の取組を、今まで以上に大きな広がりを持った「県民運動」として進めたいと考えています。

そこで、その推進母体として「食育・地産地消ふくおか県民会議」を設立し、保健医療介護や商工、農林水産、教育など様々な分野の関係団体が一体となって、食育・地産地消を推進していきます。